

令和4年度

事業報告書



社会福祉法人上士幌福寿協会

【はじめに】

令和4年度も一昨年度から引き続き新型コロナウイルス感染の対応に終始した1年間となりました。11月には特別養護老人ホーム上士幌すずらん荘で法人初の集団感染が発生し、その後町内での感染拡大の影響を受け通所介護事業所が10日間の閉所（ただしこの間、個別対応で訪問・入浴を実施しました）、そして令和5年1月に認知症高齢者グループホームむかし館において集団感染が発生いたしました。

いずれの事業所も保健所の指導に基づきながら業務を行い、他事業所の職員も応援業務を行うなど法人一丸となって対応を行うことができました。

十勝管内においても高齢者施設や医療機関など様々な施設でクラスターが発生し、収束までに長期間を要した施設も多くありましたが、上士幌福寿協会は両事業所ともに短期間で収束することができました。

感染の流行が落ち着いてきた3月からは面会制限を一部解除するなど、入居者やご家族の要望を少しでも叶えることができるよう取り組んでまいりました。

新型コロナウイルスワクチンについては、上士幌町及び医療機関の協力のもと、入居者及び全職員を対象に法人建物内で接種を実施することができましたが、ワクチンは感染を防ぐものではなく、重症化や蔓延を防ぐものであることを念頭に今後も感染対策を行ってまいります。

職場の労働環境の改善に向けた取組みについては、見守り機器30台とインカム機器15台を、北海道補助金と上士幌町補助金を活用し、上士幌すずらん荘に整備をいたしました。次年度はこまくさ苑・まつば・むかし館の整備に向け引き続き準備を進めてまいります。

職員の処遇改善については、職員給与規程や臨時職員就業規則、職能資格等級規則等の一部改正と、人事考課規程の全部改正等、諸規程の改正を令和4年4月1日付施行いたしました。今後も職員がやりがいと生きがいをもって働くことができるよう、労働環境や処遇改善に向けた取組みを継続いたします。

入所者の重度化が進むことによってケアに人手を要する方が増えてきていて、今後も質の高いケアを提供するためには、更なる人員を確保していくことが必要となっています。その対応策の一つとして、フィリピン国から2名の介護職員を特定技能制度により雇用することが決定いたしましたので、支援機関の協力のもと入国審査の手続きを行ってまいりました。採用内定から入国までは7～9か月程度の期間が必要ですが混乱なく受入れが行えるよう今後も準備を進めてまいります。

求職者はスマートフォンを活用し求人サイトに登録することが一般的な求職活動になってきている状況があるため、次年度以降もホームページやブログなどインターネットを活用した求人活動に取り組んでまいります。

「第5期中期経営計画」の2年度目である令和4年度は、新たな人材の確保、労働環境の整備、職員のキャリアアップの三点を目標の軸に掲げ取り組んでまいりました。次年度以降も中期経営計画の達成に向け一層取り組んでまいります。

1【法人全体の事業報告】

町民誰もが“住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるような地域づくり”の構築を目指し、利用者の立場に立った質の高いサービスを提供するため、全事業所が各種会議の中でサービスの質の評価を行うとともに、人材の確保と育成・定着に向けて取り組んでまいりました。

(1) 法人運営

地域福祉の担い手として笑顔と思いやりと、感謝の気持ちをもって、利用者・ご家族、地域の皆さんへサービスを行えるよう、関係機関との連携については、行政・医療・福祉・介護が互いに協力し合えるよう各種会議等に参加し連携の構築に努めてまいりました。

今後も引き続き、社会福祉法人の使命と役割を再確認しながら地域の多様なニーズに対応した専門的かつ質の高いサービスの提供、安心して暮らせる地域づくりに取り組んでまいります。

(2) 施設運営

各運営施設においては、令和3年度からの第5期中期経営計画と、事業計画に基づき各種事業を遂行してまいりましたが、新型コロナウイルスの影響により、入所者の面会制限や建物内への立ち入り制限などを余儀なくされましたが、常に「コロナ禍においてもできること」を模索し、花火大会など感染対策を行ったうえでの行事を行うなど、できる範囲の中で利用者・ご家族の満足度を上げることに取り組んでまいりました。

また、定期的に経営管理職会議や全事業所主任職会議を開催し、施設並びに職種間の連携を図るとともに、専門職連絡会の開催により各事業所が統一した感染対策等が行えるよう取り組んでまいりました。各事業所においては、適切なサービスの提供を行いながら、常に見直す姿勢とチェック機能の充実を図るため、定例会議やサービス担当者会議・ケアカンファレンス等を行ってまいりました。

今後も引き続き、法人理念や基本方針に基づいた事業計画を策定し、利用者・ご家族の満足度を上げることを念頭に各種事業に取り組んでまいります。

(3) 人材の確保・育成の強化

採用活動については、新卒者の採用に向けパンフレットを作成し十勝管内の各種学校を訪問したり、上士幌町が主催する上士幌高等学校での就職ガイダンスに参加した結果、1名の採用内定者を確保することができました。中途採用については、ハローワーク主催（実施施設＝帯広コア学園）による介護職員等初任者研修への講師の派遣や就職ガイダンスを行うことにより、複数名を採用することができました。

職員のキャリアアップに繋がる研修については、介護や看護に係る専門職研修への参加や資格取得の支援として外部講師を招聘し受験対策講座を開催するなど、魅力と働き甲斐のある職場づくりを進めてまいりました。

人材育成については、就業意欲の維持向上の方策として職員と所属長との面談を進めて参りましたが、次年度以降は人事考課制度の本格的な運用に向け更なる取り組みが必要になっていきます。

(4) 地域社会との連携

事業所毎の特性・特色を活かした施設機能等の地域還元や社会貢献活動を行うとともに、法人の各種事業のノウハウ及び人材を活用した公益的活動を目指し、事業所ごとに計画していましたが、新型コロナウイルスの影響により、多くの活動が実施できませんでした。

また、利用者、ご家族及び地域住民の皆様等、多くの方々との交流行事は実施できませんでしたが、年忘れ会などは各事業所内で実施いたしました。

2【法人本部事業報告】

1. 介護人材の確保

令和5年度の新卒採用に向けて、十勝管内の養成校及び高等学校に直接訪問しましたが全ての高等学校が新型コロナウイルス感染予防のため立入が制限され思うような求人活動が行えませんでした。地元高等学校から1名の新卒採用者を確保することができました。

中途採用者については4名の介護職員を採用でき、内訳として2名は既存職員からの紹介、2名は帯広コア専門学校が開催する介護職員初任者研修の終了者となっています。

全ての事業所で介護保険法の人員基準は満たしておりますが、入居系の事業所では入居者の重度化が進みケアに人手を要する方が増え、これまで以上に人員が必要になってきています。

退職者も採用者数と同程度いることから人員数としては増加していない状況があり、次年度以降も、より質の高いケアを提供するため、人材確保は最重要項目として取り組んでいく必要があります。

外国人介護人材の雇用については、民間事業者と人材紹介契約を締結しフィリピン国から2名の介護職員を受け入れることが決定したため、上士幌町保健福祉課職員とともに先進地視察を実施し受入に必要な諸準備等を直接勉強することができました。入国が次年度になることから今後も必要な準備を進めてまいります。

2. 質の高い福祉サービス提供のための人材育成

キャリアパス体系による外部研修計画については、職員の経験年数や役職に合わせて、北海道社会福祉協議会の研修や行政・各種団体が開催する研修には可能な限り参加してまいりました。

人事考課については、人事考課規程が令和4月1日付全部改正により施行されましたので今後は運用に向け進めてまいります。

3. 効率的な運営体制による安定経営

法人運営については6回の理事会と1回の役員協議会を開催し、その都度、法人の課題や懸案事項について協議を進めてまいりました。

法人内部では、定期的に業績検討会議を開催し各事業所の収支状況の把握を行えるよう取り組み、また、任意監査及び内部監査により適正な会計管理及び運営管理を行い、効率的な運営体制に取り組みました。

4. 法人経営におけるリスクマネジメント

自然災害発生時の業務継続計画については、令和5年度末までに策定が必要ですが今年度は完成までには至りませんでした。災害訓練については防災計画に基づき2回の訓練を実施いたしましたので訓練の反省を基に次年度に完成できるよう進めてまいります。

感染症発生時の業務継続計画についてはすでに完成していますが、今年度発生した新型コロナウイルスの集団発生時の検証を基に今後は随時見直しを検討してまいります。

5. 施設改修計画の策定と新規事業運営の検討

施設内の設備等の改修については優先順位により修繕を行ってまいりましたが、令和4年度は車両等の更新計画を策定いたしましたので、今後も計画に沿って進めてまいります。また、次年度以降は備品等についても更新計画を策定し計画的に進めてまいります。

障害者グループホームの運営については、法人独自で十勝管内の障害者グループホームの運営について調査を行いました。調査結果を参考にしながら今後も上士幌町が主催する意見交換会等に参加し具体的な方向性の共有を図ります。

6. 地域における公益的な取り組みの実施

法人行事やボランティアの受け入れを通して法人の認知度の向上や地域住民との関係性の強化を計画いたしましたが、新型コロナウイルスの影響によりいずれも実施することができませんでした。次年度以降も新型コロナウイルスや他の感染症の状況を見極めながら活動を行ったり、ホームページ等からの情報発信を通して法人の認知度を高めていく取り組みを行ってまいります。

7. 法人運営状況

(1) 理事会

回	期日	議決事項等	出席者
1	5/26	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告 ・令和3年度計算関係書類及び財産目録の承認 ・職員住宅等貸与規程の一部改正 ・6月賞与の支給率 ・冷房設備整備に係る契約の締結 ・令和4年度定時評議員会の招集について 	理事5名 監事1名
2	9/8	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人介護人材（特定技能1号）の雇用について ・外国人介護人材雇用に係る支援機関の選定 ・第1次補正予算（案） ・第2回評議員会の招集について 	理事6名 監事2名
3	10/27	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人介護人材雇用に係る契約 	理事6名 監事2名
4	12/5	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次補正予算（案） ・リフト付きシャワー浴及び専用バスタブ導入に係る業者の選定 ・12月賞与の支給率 ・第3回評議員会の招集について 	理事6名 監事2名
5	12/27	<ul style="list-style-type: none"> ・介護ロボット等導入事業に係る契約の締結 ・リフト付きシャワー浴及び専用バスタブ導入に係る契約の締結 ・評議員候補者の推薦 ・第3次補正予算（案） ・第4回評議員会の招集について 	理事6名 監事2名
6	3/14	<ul style="list-style-type: none"> ・役員報酬規程の一部改正 ・臨時職員就業規則の一部改正 ・育児介護休業に関する規則の全部改正 ・育児短時間勤務細則の制定 ・資格取得助成等規則の一部改正 ・第4次補正予算（案） ・3月賞与の支給率及び特定処遇改善加算金の支給 ・令和5年度事業計画（案） ・令和5年度収支予算（案） ・第5回評議員会の招集について 	理事6名 監事2名

(2) 評議員会

回	期日	議決事項等	出席者
1	6/14	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度計算関係書類及び財産目録の承認 	評議員6名・監事2名
2	9/20	<ul style="list-style-type: none"> ・第1次補正予算（案） 	評議員6名・監事1名
3	12/12	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次補正予算（案） 	評議員5名・監事2名
4	1/11	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次補正予算（案） 	評議員7名・監事2名
5	3/23	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次補正予算（案） ・役員報酬規程の一部改正 ・令和5年度事業計画（案） ・令和5年度収支予算（案） 	評議員7名・監事2名

(3) 監査・実地指導

1) 内部監査

回	期日	主な監査項目	実施者
1	5/12 5/13	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業現金預金、定期預金と残高証明書の突合 ・資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表の内容及び整合性の確認 ・出勤簿、時間外命令簿、旅費請求書、旅行命令簿、休暇届の確認 ・物品購入契約書、業務委託契約書の確認 ・預金通帳、定期預金証書の確認、出資証券の確認 ・理事会、評議員会議事録の確認 ・寄付金受領簿と決算書における寄付金収益明細書との突合 ・固定資産台帳の確認 ・外部監査結果報告書の内容確認 ・施設入所者預かり金の確認 ・小口現金の確認 ・決算関係書類の確認 	監事2名
2	9/13	<ul style="list-style-type: none"> ・資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表の内容及び整合性の確認 ・預金通帳、預金証書との突合及び定期預金証書の確認、出資証券の確認 ・外部監査結果報告書の内容確認 ・理事会、評議員会議事録の確認 ・施設入所者預かり金の確認 ・小口現金の確認 ・旅行命令簿の確認 ・物品購入契約書、業務委託契約書の確認 ・支出証書、会計伝票の確認 	監事2名
3	11/18	<ul style="list-style-type: none"> ・資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表の内容及び整合性の確認 ・預金通帳、預金証書との突合及び各種積立金預金証書の確認、出資証券の確認 ・外部監査結果報告書の確認 ・理事会、評議員会議事録の確認 ・施設入所者預かり金の確認 ・小口現金の確認 ・旅行命令簿の確認 ・支出証書、会計伝票の確認 	監事2名
4	2/17	<ul style="list-style-type: none"> ・資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表の内容及び整合性の確認 ・預金通帳、預金証書との突合及び定期預金証書の確認、出資証券の確認 ・外部監査報告書の確認 ・理事会、評議員会議事録の確認 ・小口現金の確認 	監事2名

		<ul style="list-style-type: none"> ・施設入所者預かり金の確認 ・支出証書、会計伝票の確認 ・各種手当支給書類の確認（住宅、扶養、通勤、資格） 	
--	--	---	--

2) 任意監査

回	期日	主な監査項目
1	4/15	令和4年3月分 1. 各サービス区分の総勘定元帳確認 2. 各サービス区分の会計伝票内容確認 3. 各サービス区分の支出伺書内容確認、突合 4. サービス区分間繰入金収入及び支出の相対性確認 5. 預金通帳、預金証書との突合 6. 資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表の内容確認、上記計算書類の整合性確認
2	5/10	令和4年度決算監査 1. 固定資産管理台帳の突合 2. 減価償却費の突合 3. 国庫補助金積立金の突合 4. サービス区分間繰入金収入及び支出の相対性確認 5. サービス区分間貸付金及び借入金の相対性確認 6. 未払金の取引先残高確認 7. 資産及び負債科目の残高確認 8. 預金残高証明書との突合 9. 資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表付属明細書、注記の内容確認。上記計算書類の整合性確認 10. 財産目録の確認 11. 付属明細書の確認 12. 社会福祉充実残額の確認
3	6/15	令和4年4月分及び5月分 1. 各サービス区分の総勘定元帳確認 2. 各サービス区分の会計伝票内容確認 3. 各サービス区分の支出伺書内容確認、突合 4. サービス区分間繰入金収入及び支出の相対性確認 5. 預金通帳、預金証書との突合 6. 資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表の内容確認、上記計算書類の整合性確認
4	7/15	同上（1～6）6月分
5	8/17	同上（1～6）7月分
6	9/15	同上（1～6）8月分
7	10/19	同上（1～6）9月分
8	11/16	同上（1～6）10月分
9	12/15	同上（1～6）11月分
10	1/18	同上（1～6）12月分
11	2/15	同上（1～6）1月分
12	3/15	同上（1～6）2月分

3) 上士幌町助成事業の実績報告に係る現地調査の結果

日時	4/28	場所	地域交流スペースこでまり
調査対象	1. 特別養護老人ホーム助成事業 2. 在宅福祉サービス助成事業 3. 介護度改善に対する助成事業		
町担当者	上士幌町保健福祉課 新井課長、塩澤主幹		
調査結果	適正である。		

8. 会議開催状況

(1) 経営管理職会議

(参加対象=各グループ管理職以上)

開催日	主な協議事項・議題
4/1	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防に係る法人の対応について ・令和4年度法人懸案事項について
4/25	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度懸案事項について 人材確保、外国人介護人材、キャリアパスと人事考課、障がい者GH パート職員の社会保険加入 ・新型コロナウイルス感染症の予防対策（次月の対応詳細）について ・令和3年度事業報告書の協議 ・業績検討
5/9	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の外部研修について ・ほっこり仲間の会の活動について ・新型コロナワクチン接種について ・令和3年度事業報告書の協議 ・令和3年度収支決算書協議
5/23	<ul style="list-style-type: none"> ・行方不明者捜索訓練について ・6月賞与の支給率について ・新型コロナウイルス感染症の予防対策（次月の対応詳細）について ・業績検討
6/28	<ul style="list-style-type: none"> ・行方不明者捜索訓練の検証 ・避難訓練の実施について ・法人全体研修内容の協議 ・職員研修等の受講計画について ・新型コロナウイルス感染症の予防対策（次月の対応詳細）について ・業績検討
7/25	<ul style="list-style-type: none"> ・法人夏祭りの中止に伴う代替行事について ・新型コロナウイルス感染症の予防対策（次月の対応詳細）について ・業績検討
8/3	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急開催。町内で増加する新型コロナ感染者発生に係る諸対応について
8/23	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道最低賃金の改定とパート職員の社会保険加入条件について ・新型コロナウイルス感染症の予防対策（次月の対応詳細）について ・トータルケアプログラム研修について ・業績検討

9/26	<ul style="list-style-type: none"> ・トータルケアプログラム研修について ・自然災害対応訓練について ・新型コロナウイルス感染症の予防対策（次月の対応詳細）について ・業績検討
10/24	<ul style="list-style-type: none"> ・人事考課制度に係る職員への周知について ・自然災害対応訓練の検証 ・新型コロナウイルス感染症の予防対策（次月の対応詳細）について ・業績検討
11/28	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害対応訓練の検証 ・防災計画の検証について ・新型コロナウイルス感染症の予防対策（次月の対応詳細）について ・出勤簿の様式変更について ・労働基準監督署調査結果をうけた各事業所からの労働者代表の選任について ・業績検討
12/27	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業計画の作成スケジュールについて ・新型コロナウイルス集団発生に伴う諸対応について ・新型コロナウイルス感染症の予防対策（次月の対応詳細）について ・北海道災害派遣福祉チームの派遣候補者の選任について ・業績検討
1/4	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度に向けて懸案事項の協議
1/24	<ul style="list-style-type: none"> ・諸規程の改正について ・令和5年度収支予算案について ・災害時の必要物品について ・新型コロナウイルス感染症の予防対策（次月の対応詳細）について ・業績検討
2/13	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業計画協議 ・令和5年度収支予算案協議
2/20	<ul style="list-style-type: none"> ・諸規程の改正について ・令和5年度年間スケジュールについて ・令和5年度事業計画修正協議 ・令和5年度収支予算修正協議
2/27	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業計画の完成 ・令和5年度収支予算案の一部見直し ・各種感染症に対する対応について ・人事考課規程の職員への周知について ・業績検討
3/28	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告作成スケジュール ・令和4年度決算報告作成スケジュール ・令和5年度年間予定表について ・各種感染症に対する対応について ・業績検討

(2) 福寿を良くする会議

(参加対象=各事業所主任職以上(未配置事業所は副主任)、看護師連絡会から1名)

開催日	主な協議事項・議題
4/19	<ul style="list-style-type: none"> ・① 各委員会からの報告(感染、介護事故、褥瘡、虐待防止、身体拘束) ・② 職員の動向 ・③ 各グループの次月の予定等 ・④ 次月の行事・研修等の確認 ・⑤ サービス向上計画実行シート検討
5/17	<ul style="list-style-type: none"> ・上記①～⑤を実施
6/21	<ul style="list-style-type: none"> ・上記①～⑤を実施
7/19	<ul style="list-style-type: none"> ・上記①～⑤を実施 ・新型コロナワクチン接種について
8/16	<ul style="list-style-type: none"> ・上記①～⑤を実施 ・新型コロナウイルス感染予防について
9/20	<ul style="list-style-type: none"> ・上記①～⑤を実施
10/18	<ul style="list-style-type: none"> ・上記①～⑤を実施 ・インフルエンザワクチン接種について
11/15	<ul style="list-style-type: none"> ・上記①～⑤を実施 ・パート職員の社会保険加入条件について
12/20	<ul style="list-style-type: none"> ・上記①～⑤を実施
1/17	<ul style="list-style-type: none"> ・上記①～⑤を実施
2/21	<ul style="list-style-type: none"> ・上記①～⑤を実施 ・新型コロナ集団感染の検証について
3/22	<ul style="list-style-type: none"> ・上記①～⑤を実施 ・新型コロナ集団感染の検証について

(3) 専門職連絡会【看護職】

(参加対象=各事業所看護職)

開催日	主な協議事項・議題
5/11	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の連絡会の開催スケジュール協議 ・コロナワクチン4回目接種について ・嘱託医変更に伴う今後の回診方法について ・感染対策について
7/12	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナワクチン接種について ・回診方法について ・利用者健康診断について ・職員研修用必要物品の確認 ・ガウンテクニックの統一した手技について
10/12	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修会(スキンケア)参加による復命と伝達研修 ・インフルエンザワクチン接種の日程とスケジュール協議
1/25	<ul style="list-style-type: none"> ・法人での医療行為について再確認 ・感染対策について(集団発生の検証) ・次年度の連絡会について

9. 研修会・行事開催状況

(1) 役員

日程	研修内容	出席者
6/30	上士幌町社協・福寿協会 役員懇談会	役員 4名
1/26	上士幌町社協・福寿協会 役員懇談会	役員 6名

(2) 法人職員全体研修等

日程	内容	参加者
5/17	法人全体研修「コンプライアンス」	44名
7/20	法人全体研修「ハラスメント」	38名
9/20	法人全体研修「実践発表会」	41名、役員4名、運営推進10名
2/21	法人全体研修「メンタルヘルス」	39名
2/2	普通救命救急講習Ⅰ	22名
3/23	年度末職員全体会議	43名
随時	身体拘束・虐待について	各グループ職員
随時	看取りについて	各グループ職員
随時	感染症について	各グループ職員
随時	認知症について	各グループ職員

(3) トータルケアプログラム研修

日程	内容	参加者
12/16	事例検討・実在入居者の対応困難事例とその解決策について	地域支援グループ
3/10	講義・今後の在宅サービス事業所に求められるもの	在宅支援グループ
3/16	事例検討・実在入居者の対応困難事例とその解決策について	施設支援グループ

(4) 法人全体行事

日程	内 容	参加者
6/15	行方不明者捜索訓練	全職員へ呼出し
7/7. 13. 14	夜間想定避難訓練 各建物ごとに実施	該当事業所職員
10/5. 6. 7. 14. 31	自然災害想定図上訓練 各建物ごとに実施	該当事業所職員
12/23～31. 1/22-3/5	イルミネーション点灯	ほっこり仲間の会

1 1. 実習生等の受入れ状況

日程	内 容	人数
8/29～30 2日間	帯広大谷短大介護福祉専攻 介護実習Ⅱ（在宅実習）	1名
9/12～16 5日間	介護職員等初任者研修に係る実習（帯広コア学園）	4名

1 2. ほっこり仲間の会活動状況

開催日	内 容
4/21	委員会「次月の予定検討」
5/11	活 動「畑おこし4か所」
6/16	委員会「次月以降の予定検討」草取りを予定していたが雨天のため中止
7/21	活 動「施設周辺環境整備（草取り）」
9/15	委員会「イルミネーション打合せ」 実行委員会の立ち上げ
10/20	委員会「イルミネーション打合せ」
11/17	委員会「イルミネーション打合せ・会費の徴収と使用用途について検討」

12/15	委員会「イルミネーション打合せ」
12/19	活 動「イルミネーション飾り付け」 点灯期間 12/23～12/31
1/19	委員会「イルミネーション事業総括」 点灯期間延長 1/22～3/5
2/16	委員会「次月以降の予定検討」
3/16	活 動「イルミネーションの片づけ」 委員会「今年度事業報告・次年度計画」

1 3. 各種委員会状況報告

(1) 感染対策委員会

発生日	法人本部	施設支援G	在宅支援G	地域支援G
4月				
5月				
6月				
7月				
8月	職員1名		利用者3名、職員1名	利用者2名、職員3名
9月			職員1名	
10月		職員2名	利用者1名	
11月	職員1名	利用者42名、職員19名	利用者16名、職員7名	職員3名
12月				職員1名
1月	職員1名		利用者2名	利用者9名、職員9名
2月				
3月		インフル利用者4名		

(2) 介護事故防止委員会

発生日	施設支援G		在宅支援G		地域支援G	
	行政届出	アケデント	届出	アケデント	行政届出	アケデント
4月		転倒4件 転落2件 火傷1件				転倒3件 転落1件
5月		転倒5件 転落1件				転倒2件 転落4件
6月		転落2件 転落3件			転倒1件	転倒2件 転落4件
7月		転倒3件				転倒1件 転落1件
8月		転倒1件 転落2件				転倒4件 転落1件 喉つまり1件
9月		転倒1件 転落1件				転倒3件 転落1件
10月		転倒3件 皮膚剥離1件				転倒5件
11月		転倒3件				転倒1件
12月		転倒5件 転落1件				転倒3件 転落1件
1月		転倒5件 転落1件				転倒4件 転落3件
2月		転倒1件 転落1件		転倒1件		転倒6件 転落1件
3月		転倒7件				

(3) 褥瘡対策委員会

発生日	施設支援グループ	在宅支援グループ	地域支援グループ
4月	要治療者4名		要治療者1名
5月	要治療者2名		要治療者1名
6月	要治療者2名		要治療者1名

7月	要治療者2名		要治療者2名
8月	要治療者3名		要治療者1名
9月	要治療者3名		要治療者1名
10月	要治療者3名		要治療者2名
11月	要治療者2名		0
12月	要治療者2名		0
1月	要治療者2名		0
2月	要治療者1名		0
3月	要治療者1名		要治療者1名

(4) 虐待防止委員会

発生日	施設支援グループ	在宅支援グループ	地域支援グループ
4月	0件		0件
5月	0件		0件
6月	0件		0件
7月	0件		0件 研修実施
8月	0件		0件
9月	0件 研修実施		0件
10月	0件		0件
11月	0件		0件
12月	0件		0件
1月	0件		0件
2月	0件		0件 研修実施
3月	0件		0件

(5) 身体拘束検討委員会

発生日	施設支援グループ	在宅支援グループ	地域支援グループ
4月	0件		0件
5月	0件		0件
6月	0件		0件
7月	0件		0件 研修実施
8月	0件		0件
9月	0件 研修実施		0件
10月	0件		0件
11月	0件		0件
12月	0件		0件
1月	0件		0件
2月	0件		0件 研修実施
3月	0件		0件

3【施設支援グループ事業報告】

【特別養護老人ホーム上土幌すずらん荘（ショートステイ）】

<介護関係>

1. 個別ケア

重度化により、一部介助を含む食事介助者が常時10名程いる状況で、多職種の協力のもと、都度食事介助の順番や食事介助者の起床時間の見直しを行い、効率的に介助が出来るように検討しましたが、介助に追われる状況で一人ひとりの方をきちんと見ることは十分にはできませんでした。

介護事故については、ご自分で排泄や移動が可能な方の転倒事故が多くありました。ブレーキのかけ忘れがあった際は、ブレーキアシストタイプの物へ変更するなど、改善可能なことはすぐに対応し夜間帯の事故については、ベッドからの転倒・転落の危険性がある方は、布団に変更して休んでいただくなど、利用者の方の状況に合わせた環境に変更することで、事故を未然に防ぐこともできました。また、見守りカメラの導入により、利用者の方の動きが画面上で見えることで、何かあればすぐに駆け付け、対応することができました。

2. 重度者ケア・看取り介護

飲食量の減少やADLの低下など変化が見られた際は、看護や栄養へつなげ介護の方向性を決めることが出来ました。看取り介護についてはすずらん会議で勉強会を行い、看取りの流れやケアのポイント、エンゼルケア等を再確認することができました。

3. 認知症ケア

認知症対応ができる・苦手としてできないなど職員によって差があり、適切でない場面があればその都度、指導・確認やアドバイスを行うように努めました。勉強会については、認知症対応の事例をもとに介護劇を行い、事例検討では対応について振り返る・考えることが出来ました。次年度についても継続して行ってまいります。

4. 職員の育成

オンライン研修に参加し知識の再確認を行うことができたが、得たことを他職員へ伝えていくことができない状況があり、次年度は学んだことを伝える・実践することができるように勉強会等通して取り組んでまいります。職員面談については毎月5名程度行い、近況や個人の話に軸をおきながら、その中から不安や不満、疑問の表出を行いました。引き続き行ってまいります。

<看護関係>

1. 適正な健康管理

毎日の健康チェックにより入居者の異常を早期発見することができましたが、受診が必要なのか経過観察範囲内なのかの判断基準が難しい事例もあり、医師と相談し対応しました。

2. 感染予防と衛生管理

感染予防と衛生管理において感染予防対策に係る研修会や勉強会、予防（マスク使用・うがい手洗いの徹底）に関する啓蒙を行い、感染拡大防止に努めました。しかし、コロナ感染のクラスターが発生し、感染を防げなかった教訓を活かし、今後の課題として取り組んでまいります。

3. 終末期ケア

終末期ケアにおいては疾病による看取りも多く、介護によって入居者の苦痛が最小限になるよう各部門と協力して対応してまいりました。

4. 健康の維持・増進

拘縮予防、気分転換が図れるようリズム体操や嚙下体操に取り組み、入居者の楽しみの一つになるよう努めました。次年度以降も継続して取り組んでまいります。

<介護・看護共通>

褥瘡ケア

褥瘡者やリスクのある利用者の方に対しては除圧や体交を定期的に行い、悪化しない・つくりたくないように対応し、皮膚トラブルがあった際は速やかに看護師に報告し処置につなげることができました。しかし、栄養状態が悪い方もおり除圧を行っても褥瘡になってしまう方もいましたが、都度、看護や栄養と話し合い、ケアの方向性を決めることができました。また、毎月のすずらん会議で褥瘡委員会を通し、発生者の報告や褥瘡の状態を職員間で確認し対応の統一を図ることができました。

<相談関係>

1. 入所者処遇・相談援助

家族との関わりにおいては今年度もコロナ禍での対面面会制限もあり、オンライン面会中心となりました。そのような中でも入所者と家族が多く交流の機会が持てるようライン機能の写真や動画を活用しながら対応してきました。新年度もコロナの感染動向を見ながら、利用者と家族が面会できるように対応し、家族と良好な信頼関係を築けるように努めてまいります。

2. 入所者への対応

体調の悪化などにより施設変更・転院が必要な入所者に対して、医療機関や他施設などの関係機関との連携・調整を都度行っていくことができました。新年度も継続して取り組んでまいります。

<栄養関係>

1. 質の高い食事の提供

入居者の方にとってのお食事は、毎日の楽しみと健康の維持改善の両輪として、体の循環を改善し、食べる機能が下がってきても、お食事を楽しんでいただけるよう考えて食事を作っていました。

2. 適切な衛生管理

日清医療食品の社内衛生基準を遵守し、職員個人の健康管理についても共に考えていくことができました。

3. 情報の共有と提供

食事介助や食事時間の巡回を通して献立内容に対する利用者の反応を確認し、厨房にフィードバックして次の献立や食形態に反映することができました。

【ショートステイ】

1. 在宅生活の継続支援

居宅介護支援事業所やご家族からの情報をもとに利用者や介護者の状況を把握し、利用者の満足と介護者の負担軽減につながるサービスの提供ができるよう、介護部門と協力しながら提供していくことができました。

2. 利用者の緊急時の受け入れ

利用者や介護者が置かれている状況を考慮しながら、各関係機関と連携をとり緊急時受け入れの対応をすることができました。また、病状悪化により救急搬送となったケースもありましたが都度、連携をとり対応できました。

【施設支援グループ共通報告】

1. 研修会、行事計画

(1) 外部研修会

日付	研修名	場 所	参加人数
6/20	新型コロナウイルス感染症の基礎知識	オンライン	3
9/13～21	高齢者虐待防止推進研修会	オンライン	21
11/4	身体拘束廃止職員研修	オンライン	19
12/7 16	看取り期に望まれる実際のケア	オンライン	4
1/21	床ずれ Web セミナー	オンライン	3

(2) 行事の状況

実施日	行事内容	実施日	行事内容
8/5	荘内夏祭り	11/4	荘内年忘れ会

2. 地域交流・ボランティア受入れ等

(1) ボランティアの受入

来荘日	来荘者	来荘目的
毎月 1 回	上士幌町老人クラブ	ウエスの寄贈
毎週月～金	みどり会	洗濯ボランティア

3. 会議開催状況

(1) すずらん会議

業績検討、各委員会、日常のケアの確認、目標反省・新目標設定、連絡事項など	
実施日	内 容（上記以外の検討事項）
4/2	感染症防護具着脱訓練 勉強会「ケアプラン」
5/12	感染症防護具着脱訓練
6/2	感染症防護具着脱訓練
7/6	避難訓練 勉強会「看取り」「食事・水分・嚥下障害」
8/6	感染症防護具着脱訓練
9/1	感染症防護具着脱訓練 勉強会「吐物処理・衛生手洗い」
10/6	感染症防護具着脱訓練 「身体拘束・虐待」 災害対応訓練
11/10	感染症防護具着脱訓練 特定技能実習生受け入れについて
12/1	開催なし 新型コロナウイルスクラスター対応の為
1/12	感染症防護具着脱訓練
2/9	勉強会「認知症」
3/2	感染症防護具着脱訓練

(2) その他定例会議

開催日	会議・委員会名	内容
第3火曜	うちごはん会議	日常の食事に対する検討。 バイキング食への指摘事項と次回内容。
2ヵ月1回	入居優先度判定会議	待機者の現況報告と入居優先順位の確定。
4/23	行事委員会	行事計画
6/1	行事委員会	荘内夏祭りについて
9/2	行事委員会	荘内年忘れ会について
毎月1回	排泄委員会	使用パット等の検討。コスト管理。トイレ設備管理。
毎月1回	環境整備委員会	屋内及び屋外の共有環境整備について。

4 【在宅支援グループ事業報告】

【通所介護事業所】

1. 利用者・家族への援助

利用者が季節を感じられる内容の工作づくりやゲーム、館内の展示物にも雰囲気を感じられるよう毎月の会議にて企画し、それにより利用者の会話の中でも話題として上がることができ、話しに広がりを持つことができました。

利用者への運動等においては、新たに平行棒を使用しての立位運動を取り入れることで体幹バランスや下肢筋力を意識した運動が行なうことができました。今後は全体での運動以外にも個別の運動プログラムの設定や歩行訓練も室内に限らず、積極的に屋外での散歩をとおして、楽しみながら運動が行えるよう取り組んでまいります。

家族への援助としてはコロナ感染予防対策もあって、主に送迎時における状況確認を行ない、必要に応じ自宅訪問をすることで、より情報共有と対応について深めることができました。また利用中に行ったぬり絵コンテストのお題を自宅に持ち帰って行う方もおり、在宅時の生活にも楽しみを持つ機会を持てたので、今後も在宅時の楽しみや生きがいを持てるよう支援してまいります。

2. 情報共有と資質向上

職員の入れ替わりにより、通所介護業務に携わる1年未満の職員がほとんどだったため、業務の理解や進め方、利用者の身体状況把握に時間をかけてきました。また日々のミーティングや職員会議においても、利用者状況の変化や対応について情報共有を図り、話し合うことができました。他事業所との情報共有は主に担当者会議にて図ることができ、多職種連携情報システム（バイタルリンク）も活用してきました。

在宅支援グループ研修としては、これまでの研修内容の見直しをした結果、徐々に考え方が浸透し、以前のような一方的に話して終わる内容でなくなり、参加した職員と一緒に考えられる内容となってきました。今後も内容や質が高められるよう進めてまいります。

3. 地域社会との交流

新型コロナウイルス感染症対応もあって、ボランティア受け入れや直接地域との交流はできませんでした。その為、法人のホームページで取り組みや活動内容を知って頂けるよう、広報誌を定期的に掲載し、PR活動を行いました。

4. リスクマネジメントへの取り組み

日々のミーティングや毎月の職員会議の中で、ヒヤリハットや利用者の状態変化について話し合い、また館内の環境にも意識して取り組んできました。それにより大きな事故に至るケースはありませんでしたが、送迎時における単独の接触事故が2件ありました。今後においても事故がないよう送迎マニュアルの見直しと個々の運転技術について互いに確認してまいります。

5. 年間行事の実施状況

実施日	行事内容	参加人数
毎月	喫茶店	
4月	29日～5月5日 町内さくら見学	52名
5月	10日、11日、13日 さくら湯	40名
6月	6日～17日 スポーツ大会（スカットゴルフ）	62名

7月	25日～30日	ナイトイ高原ドライブ	51名
9月	12日～14日	ラベンダー湯	46名
	10日～22日	秋の芸術祭	56名
10月	3日～8日	町内紅葉見学	43名
12月	21日～23日	ゆず湯	34名
	21日～23日	年忘れ会	43名
3月	1日～3日	みかん湯	42名

6. 会議の開催状況

デイサービス会議

業績検討、行事予定、前月目標反省と今月の目標、連絡事項など							
実施日	内容（上記以外の事項）		人数	実施日	内容（上記以外の事項）		人数
4/8			6名	10/7			6名
5/6			5名	11/4			5名
6/3			5名	12/9			3名
7/6			5名	1/6			5名
8/5			5名	2/3			5名
9/16			6名	3/3			6名

【訪問介護事業所】

1. 適切なサービス提供

訪問介護の利用状況としては、家事支援を中心に提供してきました。コロナ感染流行中は利用者や家族の意識が病院ではなく、自宅で最期を迎えたいという方が増え、以前に比べ看取りとなるケースが増えてきました。家族と一緒に過ごしたい気持ちを尊重し、家族の意向や思いを多職種連携で支援してきました。特に看取りとなるケースにおいては、多職種連携情報システム（バイタルリンク）の活用で刻々と変化する状況に対して、適宜に訪問時間や回数などを変更することで本人の状態に応じた介護が行なえ、家族の介護負担軽減にも繋げることができました。

2. 専門性の向上

日々のミーティングでは利用者の身体状況の変化を周知徹底してきました。また事業所として身体介護する機会が少ないことから、基礎技術を維持するため定期的に勉強会を開催してきました。今後においても、事業所のみならず職員個人が不足と思われることを取り上げ、研修会に活かしてまいります。

3. 家族・関係機関との連携

日々のミーティングにおいては職員間の情報共有を図ることはできましたが、家族との情報共有においては連携不足により誤解を与えることがありましたので、今後はより一層、家族との情報共有や信頼が得られるよう対応してまいります。コロナ禍もあって、なかなか来ることのできない遠方の家族には、日常生活の様子を伝えることで安心感を持って頂けるよう対応しました。

4. リスクマネジメントへの取り組み

脱水症状になりやすい季節時に脱水予防のチラシを配布、声掛けする事で利用者の意識も高くなり、脱水になる方はおりませんでした。また現金を預かる買い物支援ではお釣りの確認を一緒に行い、ケアパレットに記録を残す事を徹底しました。

5. 会議の開催状況

ヘルパー会議

業績検討、行事予定、前月目標反省と今月の目標、連絡事項など					
実施日	内容（上記以外の事項）	人数	実施日	内容（上記以外の事項）	人数
4/8		5名	10/4	身体介護技術研修	4名
5/6		5名	11/4		5名
6/7	身体介護技術研修	5名	12/7		4名
7/5		5名	1/10		4名
8/2		4名	2/7		4名
9/6		5名	3/7		5名

【居宅介護支援事業所】

1. 在宅生活継続への支援

毎月のモニタリングと、各事業所からの聞き取りでサービス調整を行い、できる限り意向に沿った形で在宅生活が継続できるよう努めました。

町内で利用できるサービスを最大限使用しても、一人暮らしのために転倒を繰り返し移動困難になる方や、体重減少が止まらず施設入所に至ることが多数ありました。他に、同居者の健康悪化や老々介護で、これ以上介護を続けられなくなり介護者共々疲弊してしまうこともありました。一人暮らしの健康悪化や負担過多の介護は、在宅生活の継続を困難にするので、現状と利用者・家族の意向が乖離していかないよう、今後について予め利用者と家族の双方と時間をかけて話していくことを大切にまいります。

コロナ禍のため、人の集まりにくい状況が続き介護相談会は実施できませんでしたが、認知症サポーター養成講座に講師として参加することができ、情報発信を行えました。

2. 介護支援専門員の資質向上

年間をとおして新型コロナウイルス感染症対策の更新が続きました。都度、最新の情報取得し感染対策について学び、独居者や高齢者世帯を中心に感染対策の変更点や注意点を必要に応じて伝えていきました。

介護支援専門員連絡会は、出席予定者に濃厚接触者や陽性者が発生することや、施設でのクラスターが続いたため開催を見送りました。

3. 関係機関との連携・協働

利用者・家族に、突発的なアクシデントが起き判断に迷った際は、専門病院や包括支援センターに相談し助言をもらいました。外部からの助言で対応方法に選択肢が増え、自身で考えた対応方法についても後押ししてもらえたことで、より利用者に負担の少ない対応方法になることが多数ありました。

また、介護者支援のため上士幌町障がい福祉担当と情報共有を図り世帯全体を支援することで、結果的に利用者の支援に繋がるがありました。今後、介護者支援がより求められることもあり、今回の事例を活かしてまいります。

4. 会議関係

居宅介護支援事業所会議

業績検討、行事予定、前月目標反省と今月の目標、連絡事項など					
実施日	内容（上記以外の事項）	人数	実施日	内容（上記以外の事項）	人数
4/15		2名	10/19		2名
5/20		2名	11/30		2名
6/22		2名	12/29		2名
7/13		2名	1/30		2名
8/12		2名	2/15	退職に伴う引継ぎについて	2名
9/30		2名			

【在宅支援グループ共通報告】

1. 研修会の実施報告

実施月	内 容	参加人数
7/1	第1回在宅支援グループ研修「アセスメント」	9名
9/16	第2回在宅支援グループ研修「高齢者の服薬における注意点」	12名
10/7	第3回在宅支援グループ研修「認知症」	12名
11/4	第4回在宅支援グループ研修「介護技術」	10名
1/6	第5回在宅支援グループ研修「高齢者の身体を知る」	10名
2/6	第6回在宅支援グループ研修「あいまいゾーンについて」	9名

5【地域支援グループ事業報告】

【地域密着型特別養護老人ホームこまくさ苑】

<介護関係>

1. 個別ケアの確立

関わりの中で変化があった際は引継ぎ等で話し合い、情報を共有し変更して対応してまいりました。また、サービス担当者会議にて個々のケースを深く話し合い、ケアの方向性を出し対応してまいりました。

2. 重度者ケア・看取り介護

重度化にともない褥瘡のリスク、嚥下機能低下による誤嚥等を念頭に、その時の状況に合わせて対応を見直し、看護、調理と連携し対応してまいりました。

看取り期に入った際は、ご家族と情報を共有し不安のないよう対応しました。また、今まで過ごしてきた環境を継続するため、皆さんの声が聞こえるようサロン横の和室で、過ごしてもらえよう環境を整え対応することができました。

看取り後、自分たちの関わりを会議で振り返り、次に繋げるよう話し合い深めてまいりました。

3. 認知症ケア

勉強会ではグループワークにて、事業所の利用者を念頭に置き認知症の分類について、理解を深めることができましたが、現場での実践に繋げることができませんでした。日々の業務の中でOJTを通して浸透させていくことが必要なため、次年度は現場で実践できるよう取り組んでまいります。

4. 働きやすい職場作り

新規採用職員については不安や悩み、業務の進捗状況等の確認を含め、定期的に話を聞く時間を創り対応しましたが、短期間で退職するケースもありました。今後は事業所全体で新人職員と関わり、仕事のしやすい雰囲気・職場づくりに取り組んでまいります。また、職員についても面談を通して今抱えている悩みや自己のステップアップ、事業所での役割等話すことができ、次年度についても継続してまいります。

<看護関係>

1. 適正な健康管理

定期的なバイタル測定その他、利用者の表情や様子、食事や排泄状況など日常生活におけるアセスメントに重点を置くことで体調変化の早期発見ができました。その結果速やかな病院受診や服薬調整ができ重症化を防ぐことができました。次年度も継続して関わってまいります。

2. 感染予防と衛生管理

勉強会をおこない、職員の感染予防に対する意識や理解が高まったことで、利用者の発熱等の体調変化にも感染拡大予防を意識して行動することができるようになりました。

3. 褥瘡予防対策

褥瘡リスクの高い利用者の皮膚の観察、体位変換や除圧についても、介護職員と連携しながら行うことにより褥瘡の発生を防止することができました。

4. 終末期ケア

コロナによる面会制限や感染対策が必要な状況が続いており、終末期においても制限のある中での面会でしたが、家族との連絡を密に取ることや経過説明を丁寧にすることで不安の軽減に努めてまいりました。

5. 知識の向上と医療的ケア

看護師連絡会などを通じて他事業所との知識の共有や情報交換を行いました。今後も研修会等は積極的に参加し知識や技術の向上に努めます。

6. 健康の維持・増進

日常生活の中に生活リハビリを取り入れることや、パズルや塗り絵など利用者の好みに合わせ楽しみながら日々の活動してまいりました。

<相談部門>

1. 入所者処遇、相談援助

新規入居の際には、不安が無いよう担当の介護支援専門員と自宅に伺い本人、家族から聞き取り得た情報を事業所に周知し、多職種と共有し受け入れをしてまいりました。また、老健、他施設からの入居の際は家族との関わりは勿論、各関係機関と連携を密に取り入居の受け入れをしてまいりました。

<家族・地域関係>

1. 家族及び地域住民との関わり

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、家族との交流を持つことはできませんでした。広報を通して季節行事の様子などをお知らせすることができました。次年度は行事の開催方法を考え家族と交流できる状況を創ってまいります。

<会議開催状況>

こまくさ会議

稼働率、物品使用状況の報告、各委員会、キャプションカードから・カンファレンス・サービス担当者会議・目標反省・新目標設定・連絡事項など					
実施日	内容（上記以外の事項）	人数	実施日	内容（上記以外の事項）	人数
4/25		9名	10/31		8名
5/25		11名	11/22		8名
6/27		7名	12/23	書面開催	名
7/27		9名	1/30	書面開催	名
8/29		8名	2/27	書面開催	名
9/26		7名	3/27		5名

【認知症高齢者グループホームむかし館・むかし館くつろぎ】

1. サービスの質の向上

利用者の方の変化に気付けるよう関わってきましたが、対応の変更や周知することが不十分であり、次年度は変更や周知まで徹底できるよう取り組んでまいります。

ユニット会議については各ユニット別で実施し、利用者一人ひとりに対してのカンファレンスを深めてまいりました。

利用者の方を中心とした関わりについては、まだ職員側の動きになってしまうことが多くあったため、次年度さらに力を入れてまいります。

接遇については家族の面会など増えて来ることもあるため、引き続き継続して取り組んでまいります。

医療連携については往診時に状態を報告し、必要時には相談、指示がある際は受診するなどその都度連携を図るよう取り組んでまいりました。

2. やりがいのある職場作り

意見の言いやすい環境作りについては、お互いに声を掛け合ったり、その都度困りごとなどを聞きながら関わってまいりました。今後も日頃の業務内容について、やりにくい所の聞き取りや状況に合わせた動きに変更するなど意見を聞きながら変更してまいります。

勉強会についてはグループワークを主として行ない、振り返りと事例をもとに内容を深めてまいりました。

職員面談では日頃の不安の解消や個別目標の設定について、一人ひとりとじっくり話し合いを行ない、スキルアップのための取り組みについて本人と相談しながら実施するよう心がけてまいりました。

3. 家族及び地域住民との関わり

個人向け広報の発送については日頃から写真をたくさん撮るよう心がけ、奇数月に送付してまいりました。ラインでの近況報告はなかなか定着するところまではいかなかったため、今後の課題としています。

行事については家族との交流を持つことはできませんでしたが、季節に合わせた行事や取り組みなど、日常の中に取り入れて実施してまいりました。

町の行事への参加や外食については、新型コロナウイルス感染症予防として実施できなかったため、今後取り組んでまいります。

4. 会議の開催状況

グループホーム会議

稼働率、物品使用状況の報告、各委員会、キャプションカードから・カンファレンス・サービス担当者会議・目標反省・新目標設定・連絡事項など					
実施日	内容（上記以外の事項）	人数	実施日	内容（上記以外の事項）	人数
4/4.5		13名	11/7.8		11名
5/9		13名	12/	書面開催	名
6/6.7		12名	1/10	むかし館のみ書面開催	6名
7/4.5		11名	2/6.7		12名
8/1.5		11名	3/6.7		12名
9/6.7		12名			名
10/3.4		12名			名

【小規模多機能型居宅介護まつば】

1. 利用者の居宅生活継続の支援

通いを利用した際、脳トレや口腔体操、軽運動等楽しく行えるよう工夫し継続して取り組んでまいりました。生活リハビリについても、事業所内での役割として洗濯物を干したり畳んだりすることも継続して取り組んでまいりました。また、個別に機能維持を目的としたリハビリについても、看護師が中心となり行ってまいりました。次年度も活動的な関りが継続してできるよう取り組んでまいります。

訪問については利用者の状況をみながら変化があった際は回数を増やしたり柔軟に取り組むことができました。

泊りについては、骨折により在宅での生活が困難な方を受け入れ、リハビリをしながら自宅に安心して戻れるよう対応することができました。次年度も通い、訪問、泊りを柔軟に組み合わせ利用者にあったサービスの提供をしてまいります。

新規利用者の受け入れができず登録人数を増やすことができませんでした。次年度は職員体制を整え、関係機関と協力し徐々に登録人数を増やしてまいります。

2. 利用者の安全の確保、健康管理、衛生管理

利用者2名の新型コロナウイルスの感染がありました。「通い」「訪問」を調整し蔓延せず収束することができました。今後も感染対策を徹底して行い予防に努めてまいります。

3. 地域社会との交流

新型コロナウイルス感染拡大防止のため地域での行事に参加することができませんでした。また、予定していた「お茶会」も開催することができませんでした。次年度は新型コロナウイルス等の状況を見ながら取り組んでまいります。

4. 会議の開催状況

まつば会議

キャプションカードから・カンファレンス・各委員会・目標反省・新目標設定連絡事項など					
実施日	内容（上記以外の事項）	人数	実施日	内容（上記以外の事項）	人数
4/21		6名	10/24		4名
5/19		4名	11/23		4名
6/30		5名	12/22		4名
7/29		4名	1/23		4名
8/27		5名	2/17		5名
9/15		4名	3/27		6名

【地域支援グループ共通報告】

1. 地域支援グループ共通事業報告

地域交流スペース「こでまり」を活用した地域食堂「裏めし屋」と「夜の居酒屋」や地域住民との交流については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止いたしました。次年度は開催に向け検討し実施に繋げていきます。また、家族交流会としての「年忘れ会」についても、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、各事業所で利用者の方に楽しんでもらえる行事を実施しました。

2. 運営推進会議開催状況

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、諸行事を中止したため4回の開催となりました。

回	開催日	内 容	参加者
1	4/27	令和4年度地域支援グループ事業計画について	10名
2	6/23	令和3年度地域支援グループ事業報告について	9名
3	9/20	「法人実践発表」(地域支援グループ)について	13名
4	2/22	令和5年度運営推進委員会開催予定について	10名

3. こぐま会議 (地域支援グループ合同開催)

開催日	内 容	参加者
6/14	勉強会「認知症について」	19名
10/11	勉強会「身体拘束・虐待その1・感染予防について」	20名
2/14	勉強会「看取りについて」	18名
3/14	勉強会「身体拘束・虐待その2について」	19名